

# マンガ「片町夜曲(セレナーデ)」#18 原作シナリオ

山崎浩治

## マンガ「片町夜曲(セレナーデ)」 # 18 原作シナリオ

---

### # 1 病院・救急入口

サイレンを鳴らした救急車が到着。

ストレッチャーに乗せられたトオルが中に運ばれていく。

### # 2 病室

ベッドに横たわるトオルを見舞う割烹着姿のオネエ所長と菜摘。

トオル「(快活に笑い)所長は大げさなんですよ。立ちくらみしただけなのに……」

オネエ所長「主治医の先生は入院した方がいい、って」

トオル「やり残したことがあるから、入院はまだできません」

オネエ所長「そう……(目元をハンカチで抑え、病室から出て行く)」

菜摘「(見送ってトオルに)ドロップ、あげる(ドロップ缶を振る)」

出てきたのは黄色のドロップ。

菜摘「レモンのドロップをなめると病気が治るんだよ。おばあちゃんが言った」

トオル「ありがと、なっち(とドロップを口に入れる)」

菜摘「おじちゃん、どうして泣いてたの？」

トオル「オレが遠くへ行くからかな」

菜摘「なっちのおばあちゃんも遠くに行ってるんだ」

トオル「おばあちゃんに会ったら、なっちは元気にいるよ、と伝えておくよ」

菜摘「(笑顔で)うん！」

### # 3 同・廊下

壁にもたれ、泣いているオネエ所長。

### # 4 寂れた商店街(別の日)

シルバーカーを押して歩いてくる老婆(文子)。

声「ばあちゃん！」

老婆が振り返ると、トオルが立っている。

### # 5 トオルの実家・居間

囲炉裏を囲んで座っているトオルと祖母・文子。

トオル「(スマホを触って)ばあちゃんもとうとうスマホにしたんか」

文子「トオルとラインやろうと思ってな。ほやけど、やり方がよう分からのや」

トオル「(スマホを操作して)オレが設定しとくよ……ねえ、ばあちゃん」

文子「なんや？」

トオル「いっぱい長生きしてよ」

トオルのM「オレの分までね」

文子「(シワくちやの笑顔で)おう、百まで生きるわ」

#### #6 ラブホテル街の一角(別の日の夜)

女装して変装しているオネエ所長とトオルが張り込みしている。

オネエ所長「ムリしないでよ、トオルちゃん。休んでもいいんだから」

トオル「オレ、探偵の仕事、好きなんです。だから、できるだけ続けたい」

オネエ所長「でも、こんな寒い夜の張り込みは体に良くないわ」

トオル「寒い、好きですよ。なんか、生きてる、って感じするから」

オネエ所長「(トオルの横顔を切なそうに見つめて)……」

トオル「(とっさにカメラを構え)所長、出てきました！」

ラブホテルの門から現れる乗用車。中に中年男と若い女が乗っている。

物陰に隠れたトオルが素早くシャッターを押している。

#### #7 「居酒屋まわりみち」店内

暖簾を分けて、トオルが入ってきた。カウンターの中にアヤカがいる。

アヤカ「(笑顔を弾けさせ)いらっしやい、トオルさん！」

トオル「(カウンター席に座って)アヤカちゃん、熱々の湯豆腐と熱燗ちょうだい。真冬の張り込みで体の芯まで冷えちゃった」

息を吹きかけて温めるトオルの手が寒さで真っ赤になっている。

アヤカ「手袋、すればいいのに……」

トオル「持ってないんだ」

末吉「はい、熱々の湯豆腐と熱燗、お待ち！」

トオル「(コップ酒の熱燗を飲んで)温まる～～！」

アヤカ「(トオルを見つめて思案顔)……」

#### #8 クリスマスムードが高まる夜の片町(別の日)

#### #9 「スナック香澄」店内(開店前)

アヤカがカウンター席に腰を下ろし、編み物をしている。

香澄ママ「(気付いて)トオルさんへのクリスマス・プレゼント？」

アヤカ「(心配そうに顔を上げて)手編みの手袋って、やっぱり重いですかね？」

香澄ママ「大好きなアヤカちゃんからのプレゼントなら、きっと喜ぶわ」

アヤカ「(遠い目になって)トオルさん、あたしのこと好きなのかな。デートも誘ってくれないし」

香澄ママ「誘ってくれなきゃ、自分から誘えばいいじゃない？」

アヤカ「(パッと表情が明るくなり)ですよね！」

香澄ママ「さあ、お店開けるわよ」

アヤカ「はいっ！」

#10 授業やバイトの合間、一心に手袋を編んでいるアヤカ

#11 「金沢プライベート・リサーチ」中(別の日)

オネエ所長とトオルが話している。

オネエ所長「アヤカには病気のこと、話さないつもりなの？」

トオル「オレ、さよなら言うの、苦手なんですよ」

#12 自分の部屋で編み物をしているアヤカ

アヤカ「できた！」

#13 「スナック香澄」店内(別の日)

カウンター席にはトオルや吉岡、ドレス姿の美鈴、あかりが座っている。

トオルの前で、真っ赤な顔でモジモジしているアヤカ。

アヤカ「トオルさんはクリスマスイブに予定ありますか？」

トオル「別にないよ」

アヤカ「……彼女とかいないんですか？」

トオル「いない」

アヤカ・トオル「……」

固唾をのんで聞き耳を立てている店内の一同。

アヤカ「あたしもイブの予定、ないですよ。バイトも休みだし。だからジングルベルじゃなくて、シングルベル。」

トオル「うまいこと言うね、アヤカちゃん！」

アヤカ「(落胆の笑みで)えへへ」

美鈴「(カウンターをバンと叩いて席を立ち)じれったいわ、キミらの会話！」

香澄ママ「(トオルに微笑んで)アヤカちゃんはトオルさんにデート誘ってほしいのよ」

赤くなっているアヤカとトオル。

#14 クリスマスイブで盛り上がる片町の雑踏(夜)

香林坊東急スクエアの前。

喧噪の中、プレゼントの包みを胸に抱いたアヤカが待っている。

#15 「金沢プライベート・リサーチ」表

血相を変えたオネエ所長がトオルをオンブして出て来る。

オネエ所長「しっかりして、トオルちゃん！」

トオル「(意識を失っている)……」

## #16 もとの香林坊東急スクエアの前

凍えながら待ち続けているアヤカ。街にはしんしんと雪が降っている。